

平成 29 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 特別受講の募集（ご案内）

本年度より、「社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座」の総合カリキュラムとは別に、①構造物別のシリーズ受講と②科目別のオープン聴講（座学）の特別受講者を募集します。

1. シリーズ受講

受講資格：総合カリキュラムの受講申請資格に同じ

※「平成 29 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 募集要項」を参照。

※大学卒以上でない方は、3 年以上の業務経験があることを必要条件とします。

受講シリーズ：①橋梁のメンテナンス（第 3 日～第 5 日）
②トンネル，下水道のメンテナンス（第 6 日～第 7 日）
③港湾・海岸，河川構造物のメンテナンス（第 8 日～第 9 日 2 時限目）
④斜面，擁壁のメンテナンス（第 9 日 3 時限目～第 10 日）

定員：各シリーズ 3 名 ※定員に達した場合は受付を終了します。

受講料：無料

ただし、テキスト代と現場実習の保険料等を請求します。（3000 円／シリーズ）

※「①橋梁のメンテナンス」は 2 シリーズ単位とします。

受講証：受講者には、受講修了証を発行します。

また、継続教育（CPD）制度のポイントが取得できます。

2. オープン聴講

聴講資格：制限なし

聴講科目：第 1 日 3 時限目～第 12 日 3 時限目までの演習，実習，グループ研究を除く座学

※サテライト・テレビ聴講（別途案内）については科目が限定されます。

定員：各科目 6 名 ※定員に達した場合は受付を終了します。

（サテライト・テレビ聴講の場合は会場規模に応じて募集します）

受講料等：無料

ただし、テキスト代を請求します。（1000 円／科目）

受講証：なし

3. 申し込み

申込方法：申込用紙（別紙 1，2）に必要事項を記入のうえ、E メールで事務局へ提出

※用紙をスキャンして添付送付してください。受領返信はいたしません。

申込期日：10 月 6 日（金）17:00 時必着

※受付完了は HP 会告に掲示しますが、それ以前は受講通知が不達となります。

受講通知：受講・聴講者へは E メールでお知らせします（アドレス未記載の方は受講不可）。

事務局：愛媛大学防災情報研究センター E-mail：kensien@stu.ehime-u.ac.jp

平成 29 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 シリーズ受講申込書

氏 名 (ふりがな) (年 齢)	(歳) 印
所属および役職	
連絡先	住 所： 電 話： E-mail：
最終学歴	年 月 卒業，修了
主な業務経歴	〔記載内容〕 合計： 年 ヶ月 行政職員等：所 属，部課名，役職，関係実務，勤務期間 請負業者等：業務名，受注者名（請負の場合），関係実務，発注者名，勤務期間
受講希望 シリーズ	<input type="checkbox"/> ①橋梁のメンテナンス (第3日～第5日) <input type="checkbox"/> ②トンネル，下水道のメンテナンス (第6日～第7日) <input type="checkbox"/> ③港湾・海岸，河川構造物のメンテナンス (第8日～第9日2時限目) <input type="checkbox"/> ④斜面，擁壁のメンテナンス (第9日3時限目～第10日) ※複数申込可。ただし，申込順位により一部，受講不可となる場合があります。
テキスト代等 請求書の送付先	宛 名： <input type="checkbox"/> 受講者宛 <input type="checkbox"/> _____ 送付先： <input type="checkbox"/> 受講者住所 <input type="checkbox"/> 〒 _____ 件 名： <input type="checkbox"/> 平成 29 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 シリーズ受講 テキスト代および実習保険料 <input type="checkbox"/> _____ ※請求書受領後に指定の銀行口座にお振込みください。

【送付先】愛媛大学防災情報研究センター E-mail：kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※捺印した用紙をスキャンして E メールで添付送付してください。

平成 29 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 オープン聴講申込書

氏 名 (ふりがな) (年 齢)	(歳)
所 属	
連 絡 先	住 所： 電 話： E-mail：
聴講希望科目	<input type="checkbox"/> 社会基盤のアセットマネジメント (第 1 日 3-4 時限目) <input type="checkbox"/> 舗装の設計と維持管理 (第 2 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> 道路附属設備の点検と補修工法 (第 2 日 2 時限目) <input type="checkbox"/> 劣化モデルと評価手法 (第 2 日 3 時限目) <input type="checkbox"/> 橋梁上部工の設計と維持管理 (コンクリート橋) (第 3 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> 橋梁上部工の設計と維持管理 (鋼橋) (第 3 日 2 時限目) <input type="checkbox"/> 橋梁構造物の基礎工・下部工の設計と維持管理 (第 3 日 4 時限目) <input type="checkbox"/> 橋梁の耐震補強 (第 3 日 5 時限目) <input type="checkbox"/> コンクリート橋の損傷と補修工法 (第 4 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> 鋼橋の損傷と対策 (第 4 日 2 時限目) <input type="checkbox"/> 橋梁の補修設計 (第 4 日 4 時限目) <input type="checkbox"/> 橋梁上部工の設計と維持管理 (床版) (第 4 日 5 時限目) <input type="checkbox"/> 橋梁の維持管理手法 (第 5 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> トンネルの設計 (第 6 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> トンネルの損傷と補修工法 (第 6 日 2 時限目) <input type="checkbox"/> トンネルの点検と診断 (第 7 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> 下水道の維持管理 <u>※会場都合で募集無し</u> (第 6 日 3 時限目) <input type="checkbox"/> 港湾・海岸施設の維持管理 (第 8 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> 港湾・海岸施設の損傷と補修 (第 8 日 2 時限目) <input type="checkbox"/> 河川構造物の維持管理 (第 9 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> 河川堤防の損傷と補修 (第 9 日 2 時限目) <input type="checkbox"/> 斜面の設計と維持管理 (第 9 日 3 時限目) <input type="checkbox"/> 擁壁の設計と維持管理 (第 10 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> 地域の地盤特性と健全度評価 (第 11 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> 四国・愛媛県の地形と地質 (第 11 日 2 時限目) <input type="checkbox"/> 愛媛県社会基盤と維持管理の取り組み (第 11 日 3 時限目) <input type="checkbox"/> ICT 施工と新技術の地域実装 (第 11 日 4 時限目) <input type="checkbox"/> 橋梁の簡易点検と清掃による長寿命化 (第 11 日 5 時限目) <input type="checkbox"/> ライフサイクルコスト (第 12 日 1 時限目) <input type="checkbox"/> リスクマネジメント (第 12 日 2 時限目) <input type="checkbox"/> メンテナンス技術者倫理 (第 12 日 3 時限目)
※複数申込可。ただし、申込順位により一部、聴講不可となる場合があります。	

別紙2(つづき)

ME 再受講	<input type="checkbox"/> 一般受講 <input type="checkbox"/> ME 再受講 (_____ 期, 認定番号 _____)
テキスト代 請求書の送付先	宛 名： <input type="checkbox"/> 聴講者宛 <input type="checkbox"/> _____ 送付先： <input type="checkbox"/> 聴講者住所 <input type="checkbox"/> 〒 _____ 件 名： <input type="checkbox"/> 平成 29 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 オープン聴講 テキスト代 <input type="checkbox"/> _____ ※請求書受領後に指定の銀行口座にお振込みください。

【送付先】 愛媛大学防災情報研究センター E-mail : kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※用紙をスキャンして E メールで添付送付してください。

平成 29 年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座の時間割 (総合カリキュラム)

科目枠	開催日	1時限目 (8:30~10:00)	2時限目 (10:20~11:50)	3時限目 (12:40~14:10)	4時限目 (14:30~16:00)	5時限目 (16:20~17:50)	(18:30~20:00)
前半	1 10/19 (木)	養成講座の概要説明 受講開始時能力診断 (開講式・ガイダンス)	社会基盤と維持管理 (総論)	社会基盤のアセットマネジメント		グループ事例研究	講義, 事例研究の レポート作成
	2 10/20 (金)	舗装の設計と 維持管理	道路附帯設備の 点検と補修工法	劣化モデルと 評価手法	劣化モデルと 評価手法<演習>	グループ事例研究	講義, 事例研究の レポート作成
	3 10/23 (月)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (コンクリート橋)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (鋼橋)	<実習> コンクリートの 耐久性試験	橋梁構造物の 基礎工・下部工の 設計と維持管理	橋梁の耐震補強	講義, 事例研究の レポート作成
	4 10/24 (火)	コンクリート橋の 損傷と補修工法	鋼橋の損傷と対策	<実習> 新技術による点検	橋梁の補修設計	橋梁上部工の 設計と維持管理 (床版)	講義, 事例研究の レポート作成
	5 10/25 (水)	橋梁の 維持管理手法	<実習, 演習> 橋梁の点検と診断, 補修				講義, 事例研究の レポート作成
中間	6 11/1 (水)	トンネルの設計	トンネルの 損傷と補修工法	下水道の 維持管理	<実習> 下水道の点検と診断, 補修		講義, 事例研究の レポート作成
	7 11/2 (木)	トンネルの 点検と診断	<実習, 演習> トンネルの点検と診断, 補修				講義, 事例研究の レポート作成
後半	8 11/6 (月)	港湾・海岸施設の 維持管理	港湾・海岸施設の 損傷と補修	<実習> 海岸施設の点検と診断, 補修		グループ事例研究	講義, 事例研究の レポート作成
	9 11/7 (火)	河川構造物の 維持管理	河川堤防の 損傷と補修	斜面の設計と 維持管理	斜面の設計と 維持管理<演習>	ME報告会 グループ事例研究	講義, 事例研究の レポート作成
	10 11/8 (水)	擁壁の設計と 維持管理	擁壁の設計と 維持管理<演習>	<実習> 自然斜面, 落石, 切土, 擁壁の点検と診断, 補修			講義, 事例研究の レポート作成
	11 11/9 (木)	地域の地盤特性と 健全度評価	四国・愛媛県の 地形と地質	愛媛県社会基盤と 維持管理の取り組み	ICT施工と新技術の 地域実装	橋梁の簡易点検と 清掃による長寿命化	講義, 事例研究の レポート作成
	12 11/10 (金)	ライフサイクルコスト	リスクマネジメント	メンテナンス 技術者倫理	社会基盤と維持管理 ワークショップ	今後の技術 向上に向けて (閉講式)	講義, 事例研究の レポート作成
自己 学習 (事前)	eラー ニング	橋梁工学		コンクリート構造物の損傷		鋼構造物の損傷	
		構造物の補修・補強		共通の損傷		橋の点検要領	
		コンクリート橋の点検		鋼橋の点検		構造物の詳細調査	

【主な科目】

前半: インフラマネジメント(1), 橋梁のメンテナンス

中間: トンネルのメンテナンス, 下水道のメンテナンス

後半: 港湾・海岸施設, 河川構造物, 斜面・擁壁のメンテナンス

地域特性と現状, 新技術, インフラマネジメント(2), 技術者倫理

【内訳】

座学	54.0 時間	36 コマ
演習	7.5 時間	5 コマ(実習内含む)
実習	22.5 時間	15 コマ
グループ研究	6.0 時間	4 コマ
レポート作成	18.0 時間	12 コマ
eラーニング	13.5 時間	9 コマ
	121.5 時間	(1コマ=1.5時間)